

2017年9月1日

民進党新代表 前原誠司様  
民進党本部 執行部ご一同様

兵庫県内で野党共闘と市民の共同選挙による「安倍政治」に  
終止符を打つ市民ネットワーク

連帯兵庫みなせん 兵庫各選挙区地域みなせん  
代表 連帯兵庫みなせん代表世話人兼事務局長

松本 誠

## 立憲4野党の共闘と市民との共同を深化させることを求める要望書

民進党の新代表と新執行部に対するお願い

このたびの民進党代表選挙と新体制の発足にあたり、民進党の再建と日本の民主政治回復のために新しい体制の下で力強く船出されたことに敬意を表します。

私たちは、兵庫県において野党共闘と市民の共同選挙によって「安倍政治」に終止符を打つために、県内全域の市民と連携し、新社会党や緑の党を含む立憲野党5党の兵庫県組織と連携して、昨年の参院選から活動を始め、次期衆院選に向けて活動を続けている市民ネットワークです。

この7月以降、安倍政権によりやく綻びが目立ち始め、安倍政権による改憲を阻み、立憲野党が連携して安倍政治に終止符を打つ時期が近づいてきたと期待しています。

そのような時期に、野党第一党として野党共闘の要になる民進党が新体制をつくり、この国の政治を転換することに貢献されるのを、大きな期待感を持って歓迎しています。

言うまでもなく、小選挙区制度の下での衆院選挙は、与党が一丸となって候補を立てているのに対抗するためには、野党が連携し、候補者を一本化して闘わなければ与党候補を圧することが困難です。現在のように与野党の力関係が大きく差がついている状況下では、野党の連携と候補者の一本化が不可欠です。

私たち市民にとっても、野党の連携により候補者が一本化されることによって、市民の力を野党統一候補に結集することができます。野党の連携と候補者の一本化は、野党票を足した以上の相乗効果を生み出せます。そのような展望が見いだせるからこそ、私たちは「野党共闘と市民の共同選挙」というこれまでにない動きをつくることができます。

こうした観点から、以下の2点を要望します

### 1. 市民連合と立憲4野党が確認した「共有政策」を継承、発展させてください

安倍政権による憲法破壊を許さず、この国を立憲主義と民主主義の国に戻すことが何よりも重要です。安保法制や特定秘密保護法、共謀罪法の廃止は国民に対する責務です。国民の生活不在のアベノミクスに終止符を打ち、生活者や働く人の立場に立った経済・社会政策に転換することも急務です。

これらの課題の実現について、今年4月に市民連合と立憲野党4党が合意した政策の基本的枠組みを踏襲し、さらなる発展をめざすように要望します。

### 2. 立憲野党4党と市民の協力を前進させてください

昨年の参院選では、立憲野党4党と市民の協力によって、自民党の牙城であった一人区で大きな成果を挙げました。次の総選挙が近づく中で、いま何より重要なことは、この国の立憲主義と民主主義を取り戻すための野党が一丸となって安倍政権与党勢力と対決することです。野党第一党である民進党が先頭に立ち、この2年余りの経験と実績を持つ立憲野党4党と市民の結集を強固にすることです。それなくしては、安倍政治に終止符を打つ絶好のチャンスを逃すことになりかねません。

民進党が新体制の下でこの結束を一層強化し、この国の政治刷新の先頭に立たれることを強く期待しています。私たちも総選挙に向けて立憲4野党の連携と市民との共闘を深化させていきます。

以上